

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果

作成日

令和 6年 2 月 29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3092200132		
法人名	株式会社 葵		
事業所名	あおい介護センター田辺GH		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護(介護予防を含む)		
所在地	和歌山県田辺市下屋敷町1-78		
自己評価作成日	令和6年2月19日	評価結果市町村受理日	令和6年4月22日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人カリア
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘4-4-33
訪問調査日	令和6年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所はビルの5階にある1ユニット定員9名の認知症高齢者のグループホームになります。一人一人の状態に合わせた介護をしており、健康で穏やかに過ごして頂けるグループホームを目指しています。田辺市街地に立地しており、世界遺産の闘鶏神社や市役所、消防署、病院、商店等も多く社会資源に恵まれています。また近辺のお祭りや花見、イベント行事等にも多数参加しています。地域資源を生かした外出などを積極的に取り入れることで、日常生活に楽しみを持てるように支援し、入所して終わりではなく、利用者様にとって地域社会での生活を実感しながら生活ができる事業所になります。医療面では協力医療機関による往診や訪問看護も定期的に取り入れており、健康面でも安心して過ごして頂いております。緊急事態に備えAED設置、全職員への救命講習、急変や事故発生時に備えています。事業所での取り組み・活動などは、ケア報告書やグループホーム新聞、運営推進会議等で家族・外部の方への報告や情報発信を行い、透明性や連携に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は交通の便の良い駅前商店街の中に立地していますが、ビルの5階がグループホームとなっているため、静かで見晴らしもよく快適に過ごせる環境です。商店街という立地を活かし、近所の商店に買い物に行ったり、神社で花見をしたりと、感染対策に配慮しながら積極的に外出の支援を行い、利用者に窮屈な思いをさせることなく毎日の生活を楽しくもらえるよう日々取り組まれています。医療体制に関しては、協力医療機関の医師による往診が定期的であり、必要時には受診の付き添いも行うことができます。重度化した場合や、希望があれば施設での看取りも可能なので、安心して生活することができます。また、職員は利用者一人ひとりの気持ちに寄り添うという理念を大切にしているため、忙しい業務のなかでもそれを利用者に見せることなく、ゆっくりと穏やかな動作と声かけを行うことで、施設内は静かでゆったりとした空気が流れており、利用者の表情も安らかであったことが印象的でした。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「気持ちに向き合い寄り添う」「その人らしいあり方を大切にす る」「切れ目なく望む暮らしを支える」を理念とし職員一丸となつて介護に取り組んでいます。その人らしさや気持ちの尊重等、特に気をつけています。	理念は事務所内の目に付きやすい場所に掲示されており、職員は常日頃から、理念のおり一人ひとりに適切なケアを提供できているか確認しながらサービスを提供しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所の代表は商店街の役員を引き受け地域の一人として交流させて頂いています。近隣店舗での買い物や祭りの参加、地域の方々のレクリエーション交流もあります。	代表者が商店街の役員を務めていることもあり、地域のイベント等には事業所ぐるみで参加することも多いです。商店街の中に立地しているの、利用者と共に買い物に出かけることで交流の機会としています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護サービスの問い合わせなど相談があれば随時引き受けています。認知症の方の理解や支援方法など実践して経験を積み上げており、地域の人々へ向けて貢献しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症対策で文書開催を継続しており、活動状況の報告や今後の予定を伝えています。返信いただいた意見や要望を受け付け、サービスの向上に取り組んでいます。	コロナ禍以降は文書での開催となっており、市の担当課や民生委員、家族等に運営状況を報告しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	事業所は市のやすらぎ対策課の担当者に日頃から連絡して必要な情報を頂いたり協力関係を築くよう取り組んでいます。また運営推進会議を通して事業所の実情やケアサービスの取組みを伝えています。	市の職員とは日常的に連携しており、生活保護受給者の施設利用等、お互い相談し合える関係を築いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束の具体的な行為を事業所内に掲示して、身体拘束をしないケアを実践しています。日中、玄関は施錠しておらず自由に開け閉めが出来ますが、事故防止の為、外出時は職員が付き添いさせて頂いています。	身体拘束を行っている事例はなく、委員会や研修を開催することによって、身体拘束をしないケアが職員間で浸透しています。利用者が外に出たいと訴えたときは、職員が付き添い散歩やドライブに出かけます。	

7	<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束を含め虐待防止を徹底するようにしています。具体的な事例を挙げて入居者さんへの対応が虐待に繋がらないように職員間で意見を出し合い、虐待になっていないかを議論する事もあります。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で権利擁護について学ぶ機会はありませんでしたが、今までの入居者さんにこれらの制度を活用された方はおられません。必要があれば活用できるように支援していきます。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には契約書、重要事項説明書の内容を各項目ごとに説明させて頂いています。その都度、不安や疑問がないか確認しながら進めていきます。法改正などにより改定する時は文書にて内容を送付し案内しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様からの要望は普段のケアから聞き取るようにしています。ご家族からの要望は運営推進会議や受診報告の電話、面会時に気軽に相談出来る関係を提供しており、また早急に反映出来るように努めています。</p>	<p>利用者からは家族への電話や買い物の希望を聞くことが多く、その都度支援しています。家族への連絡はこまめに行っており、その際に意見や要望を聞き取ることが多いです。面会についての要望が多いようで、希望通りにできるよう検討されています。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>管理者は日頃から職員と一緒に働いており、いつでも意見や提案を聞ける体制です。代表者とも常に連絡を取る事ができており、会議などでも意見を交換しています。また各職員との距離も近いので直接意見や提案を受ける事もあります。</p>	<p>管理者と職員の距離感が近く、日常的に意見や提案を聞いています。ケア内容や勤務体制、イベントの実施に関するものが多く、意見を反映させる事ができています。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者会議・フロア会議で状況把握や改善を行っている。職員は実習生の教育指導など向上心を持って働く環境作りを心がけフレッシュ休暇も設けている。</p>	
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の能力に適した研修の促しや事業所内での勉強会を行っている。月に1回開催する管理者会議・フロア会議での決定事項を反映するように指導している。</p>	

14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	感染症対策の中、今は活動は限られているが講習や研修等を通して同業者と交流が出来るように努めている。事業所と連携している医療機関や看護事業所と意見交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人と面談させて頂き、本人の思いや困っていることなど確認し、一人ひとりその方にあつた支援内容を決めていきます。面談の時から本人の話を傾聴する姿勢で臨み、入居後も安心してお話いただける関係づくりをしています。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人との面談の前に、家族さんから話を聞かせて頂く事が多く、困ってる事や要望など確認したうえで本人の思いを伺っています。また家族さんとの信頼関係は本人の安心感にもつながっています。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応でグループホームの入居が、本人や家族のニーズに適しているか見極めています。ニーズに合わせて支援内容を検討しますが、合わない時には他事業所のサービスを提案させて頂きます。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様には、それぞれの残存能力に応じて家事などの作業と一緒にこなしています。掃除やおしぼりの準備など簡単な作業は利用者様の役割としてお任せする事で、お互いを支えあう関係作りが出来ています。		
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話・面会以外にも、誕生日会にプレゼントやメッセージを添えて頂いたり、衣類や食べ物など本人が必要とする物を家族さんが用意されたり利用者様を支援するうえで充分協力して頂いています。		
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている	感染症対策で自由に外出する事は難しくなっていますが、面会や近隣の散歩、自宅付近までドライブをする等の支援を行なっています。また行きつけの医療機関の受診も入所した後もそのまま引き継いでいます。	家族や友人との面会や、家族との外出の支援を行っており、馴染みの美容室に通っている人もいます。散歩やドライブに出かけることも多く、閉鎖的な生活にならないよう支援しています。	

21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の様子から利用者様同士の関係は把握できています。気を使っていたり、そういった方の心のケアを職員が対応しています。また孤立しないように本人の気持ちを尊重し、自由に穏やかに安心して過ごせるように支援しています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前入居されてた方の家族様に、気軽に声を掛けて頂いたり、サービスを問わず新規利用者の紹介をして頂く事もあります。契約終了後も関係が切れる事のないように努めています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の中には、ご自宅での生活を希望されている方もおられますが、状況を説明しながら本人の望む暮らしに近づけるように努めています。ホーム内には家事やレクをして楽しむ方もいれば、ご自身のペースでゆっくり過ごしている方等、様々です。	入所時に生活歴を聞き取り、入所前の生活を継続できるよう支援しています。読書やカラオケ、おやつ作りなどの趣味活動や、洗濯たたみ等の家事を入所後も継続することで、その人らしいペースで生活できるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居前に面談を行ないその方の生活歴や考えなどの把握に努めています。入居後は職員それぞれのコミュニケーションの中で得た情報を共有し、その方をより深く理解していきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様それぞれに日々の様子を記録しています。心身状態、有する力に合わせて家事の分担やレクを企画させて頂いています。またその日の体調や気分によって行なわれなかった事も日々記録させて頂き現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人との日々の関わりの中で課題を見いだし家族さんの意向も反映した本人主体の介護計画を立案し、ケア会議で話し合いのうえ作成しています。モニタリングについてもケア会議でスタッフの意見を聞きながら作成しています。	プランは半年から1年ごとに更新しています。会議の場以外でもケアに関する提案や情報交換が日常的に行われているため、利用者の状態変化や家族の要望を反映させたプランを作成することができています。	利用者の状況は職員間で常時確認、把握できており、適切にプランに落とし込むことができているが、モニタリングの時期についての明確な決まりが無いようなので、3ヶ月ごとに実施記録に残す等、手順をルール化することを検討されてはいかがでしょうか。

27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は個別に作成し、利用者様それぞれにファイルしています。職員は記録を自由に閲覧する事ができ、毎朝の申し送りでも利用者様の様子や気づきを話し合い情報共有して日々のケアを実践しています。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍の時はリモート面会を提供させて頂きました。また、感染状況に合わせて柔軟な面会対応にも取り組んでいます。現在、面会は受け付けており、家族・利用者様のご希望に合わせた対応に努めています。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの医療機関の受診や、買い物、食事サービス、訪問理容など地域資源を活用し、利用者様が安心出来る支援を常に提供しています。		
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	基本的には馴染みの医療機関の受診を入所後も継続しています。また希望があれば提携先の医院の往診対応もしています。通院は職員が付き添いし、日々の様子を医師に伝え、適切な医療を受けられています。	入所時に施設提携の医師か入所前のかかりつけ医かを選択することができます。提携医は2週間に1回往診に来てくれるので安心して生活することができます。また、他の医院を受診するときは、職員が通院介助を行っています。	
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	2週間に1回の訪問看護にて日常の様子や気になる事を共有しています。体調不良が続く時には、点滴対応や24時間の連絡体制を整えたり、緊急時には同施設内の看護師にも連絡を取っています。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、本人の普段の様子や介助の方法など医療機関へ情報提供を積極的に協力させてもらっています。退院時には、病状の変化や再発を防ぐ為に注意する事、入院中の本人の様子をしっかり聞き取りを行ない受け入れしています。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	あらかじめ重度化した時や終末期の意向を確認させて頂いています。状態変化に伴う心境の変化もその都度確認させて頂きます。終末期の状況によっては訪問看護や医療との連携により看取りを行える体制で支援しています。	重度化・看取りに関しては、入所時と状態の変化があった時等に家族と話し合わせ、意向を確認し今後の方針を決められています。職員に対してもマニュアル作成や研修会を開催することでチームで支援する体制が構築されています。	

34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故の発生等の緊急時に、どの職員でも昼夜を問わず対応が出来るように、対応マニュアルの用意と行動訓練は行っています。施設内にはAEDを設置し職員も講習を受けています。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルにて、火災や地震・水害時に全職員が速やかに対応できるよう簡潔に整備しています。夜間帯などは、階下のホテルに協力して頂き安全に避難できるような体制を築いています。	日中・夜間を想定した避難訓練を実施し、具体的な行動や経路など確認されています。また、食料やコンロ等の備蓄も階下のホテルと共同して整備されており、緊急時の協力体制も整っています。	グループホーム単独の避難訓練は行われているので、今後は、階下のホテルやデイサービス事業所等と共同して避難訓練を行うことで、緊急時の協力体制を更に強化されることを期待します。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の誇りやプライバシーを損ねないよう言葉掛けや対応に十分注意しています。特に排泄時には特にご本人や周囲の方への配慮もしながら、失礼のないように声掛けを行うようにしています。	毎月の会議や研修で話し合い、一人ひとりの人格やプライバシーを尊重する介護の実践に繋がっています。一人ひとりの利用者に合わせて声かけが行われ、何かあればその都度話し合いを行い対応されています。	
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何をしても利用者様の意思決定は尊重するようにしています。好きな飲物や入浴、レクリエーションの参加等、それぞれに選んで決めて頂いています。		
38	15 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れはありますが、その中で無理強いする事のないように利用者様の意思を尊重しています。どのように時間を使うのか、何をして過ごすのかも職員都合にならないように努めています。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で好きな服を選んだり、髪や化粧も自身で身だしなみ出来る方は好きなようにして頂いています。また地域の方の訪問理容も受け入れており、希望者は利用して頂いています。		
40	16 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は委託ですが、厨房は利用者様が過ごされるホールから見えるようになっており、盛り付けや音や匂い等も感じられるようになっています。個々の状態に合わせた食事形態に対応しており、テーブル拭きは利用者様が担当しています。	基本メニューは決まっていますが、利用者の状態に合わせた食事形態にできるだけあわせて提供されています。また、できるところは利用者と一緒に準備や片付けをしたり、利用者の好きな物を一緒に買いに行ったり、一緒におやつ作りを楽しまれています。	

41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事と水分摂取量、体重は記録しており、医師と相談しながら栄養状態の把握をしています。また、最低でも1日6回は定期的に水分を取れるように支援しています。個々の状態に合わせてトロミを使用したりもしています。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を職員間で共有しながら歯磨きを怠ることが無いように記録を付けています。介助が必要な方には口腔ケアガーゼ等も使用して清潔を維持しています。		
43	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録表を参考にしながら利用者様の排泄状況を把握しています。自発が無い利用者様は職員から声をかけてトイレへ誘導しています。長時間放置にならないように、小まめなトイレ誘導を心掛けています。	排泄表を基に個々の排泄パターンの把握に努め、仕草や様子により声かけ・誘導を行い、トイレで排泄できるよう支援されています。夜間でもトイレでの排泄を基本にしながら、利用者に合わせてポータブルトイレやオムツ・パットを使用し、安眠できるよう支援されています。	
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	配食業者の協力を得て便秘予防等バランスの採れた食事を提供しています。また水分不足にならないように、好きな飲物を選んで頂き提供しています。便秘時は医療の指示通りに下剤や浣腸を行う事もあります。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴予定はありますが気分が乗らない時は無理強いせずに延期して頂いています。個浴対応なので特に時間を設けず、一人一人の時間で入浴して頂いています。	入浴は週3回程度行われていますが、利用者に合わせ希望に副えるよう支援されています。重度化した場合はシャワー浴や清拭にて対応されています。入浴剤などを使用し入浴を楽しめる工夫がされています。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様に合わせた生活スタイルになるように自由に好きな時に休息して頂いています。また、就寝時間も設けておらず、自身のペースで過ごして頂いています。就寝時は定期巡回を行ない安全確保に努めています。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用中の薬情報について、特に注意が必要な時は申し送りや全体ノートに発信し、全職員で共有するようにしています。誤薬予防の為、服薬前は職員間で確認し合い、二重チェック体制にしています。		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者様の状況に応じた役割分担を決めて、家事等もして頂いています。趣味の時間を設けたり、近場の散歩やドライブ、レクリエーションでは毎月個人に合わせたレクの企画も行ない皆さんが楽しめるように支援しています。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩に行きたい等の利用者様の要望に対応出来るように、その日の予定等は臨機応変に対応しています。また家族と一緒に外出されたりしている方もおられます。</p>	<p>初詣や花見等、季節ごとの外出を行っています。また、個別で散歩や近隣の商店街に買い物に出掛けたり、利用者が外に行きたいと訴えた時には職員が付き添い、散歩やドライブに行く等の対応をされています。家族との外出や外泊等も自由に行うことが出来ます。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>紛失やトラブル防止の為、お金の管理は職員が行なっています。領収書と使用明細は毎月家族に送付し報告しており、通帳残高のコピーを利用者様に渡している家族の方もおられます。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族との連絡に事業所の電話を使って頂いております。特に利用時間は設けておりませんが、家族の都合に合わせて利用して頂いています。耳が遠いので手紙でやり取りしている利用者様も居られます。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は見通しが良く、利用者様、職員ともお互いの様子が確認でき安心して過ごせています。空調管理や清掃にも気をつけています。毎月壁の飾りや展示物を取替え季節感を採り入れています。</p>	<p>共有空間は全体を見渡せるよう高さのあるものは置かず、落ち着いた基調の家具で統一され、車椅子で自由に通れるように、また皆様でも1人でも過ごせる様、家具の配置を工夫されています。利用者の作成された季節の飾りつけなども掲示されています。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日中、居間のソファでテレビを観て過ごす方は、気の合う方同士で座られています。また、窓際のソファにも気分転換に独りでゆっくりされている方もおられます。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様それぞれの居室には、自宅同様に使い慣れた家具や布団など馴染みの物をできる範囲で揃えて頂けるようお願いしています。クローゼットの整理整頓も自身で出来る方はお任せしています。	居室は日当たりが良くベッドは備え付けの物があり、持ち込みの制限等はなく、利用者はそれぞれ自分の使い慣れた家具や嗜好品を持ち込まれ、居心地良く過ごせる空間になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所案内は文字と絵を併用して、迷わないように表示しています。浴室やトイレ、居室には手摺りを設置し、共用部は歩行時に物に当たる事がないように空間を広く確保しています。		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない